

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	政策企画部
-------	-------

【令和2年度重点目標】

重点目標	第二次上田市総合計画と上田市版総合戦略の着実な実現		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>①「上田再構築プラン」の推進</p> <p>②第二次上田市総合計画後期まちづくり計画の策定に向けた取組</p> <p>③上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進による地方創生の取組</p> <p>④第2次定住自立圏共生ビジョンの施策管理</p>	<p>①・優先課題の具体化・実現に向けた庁内関係課との調整を継続</p> <p>②市民意見の集約及び最終答申 ・パブリックコメント（4月～5月） ・市民まちづくり懇談会（6月以降） ・庁内策定会議、部会審議（7月以降） ・最終答申及び議会上程（8月以降） ・冊子及びダイジェスト版制作（年度内）</p> <p>③・元年度交付金事業の効果・検証（5月以降） ・2年度交付金事業（継続2事業、新規2事業）の申請・事業推進</p> <p>④進捗状況の確認と所要の見直し</p>	<p>①後期まちづくり計画策定において、上田再構築プラン「7つの挑戦」の実現に向けた関連施策を位置付けるとともに、令和3年度実施計画策定方針に位置付け、検討・調整</p> <p>②市民意見の集約及び最終答申 ・4月16日から5月15日まで市民意見を公募。14件（4人）から意見提出。うち1件の意見を計画案に反映 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため懇談会を中止。新しい生活様式を踏まえた各種団体の代表者を参集し「上田市を考える会」として、真田地域、武石地域で開催（上田地域、丸子地域は市内の感染拡大を受けて中止）。中間答申の内容は、広報うえだ（4月号特集）、行政チャンネルによる特別番組を制作・放送し市民に周知 ・最終答申を11月に延期したことから、最終答申に向けた庁内策定会議及び部会審議を10月に延期 ・11月5日に最終答申（審議会全体会）、12月市議会定例会に議案を上程する予定 ・冊子及びダイジェスト版の制作に着手（全体構成、仕様書の作成、業者選定）</p> <p>③・元年度交付金事業の効果・検証（7月実施） ・2年度交付金事業（継続2事業、新規2事業）の交付決定・事業推進 ・地方創生応援税制の改正に伴う地域再生計画認定、新型コロナ対応地方創生臨時交付金申請</p> <p>④幹事会、連絡協議会及び共生ビジョン懇談会の開催に向け、構成市町村及び庁内関係部局と連携し、令和元年度実施状況と今後の取組を確認</p>
重点目標	長野大学の改革促進と学園都市づくりの推進		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<p>①公立大学法人長野大学の改革促進</p> <p>②学園都市構想の策定と推進</p> <p>③「信州上田学」事業の充実と展開</p>	<p>①・学部学科再編構想具体化と推進（通年） ・効率的な業務実績評価の実施（5～12月） ・修学支援事業の適切な対応（通年）</p> <p>②・学園都市構想の策定（年度内）</p> <p>③・ライフステージ毎の出前講座（通年） ・長野大学での信州上田学講座（通年） ・上田未来会議の企画運営（通年）</p>	<p>①・大学派遣職員が2名増員され、学内への「学部学科再編室」の体制構築など、連携を強化 ・業務実績評価は、評価委員会を一部オンラインも活用し予定どおり開催（7～8月中に評価委員会を3回開催、9月に評価書を議会へ報告） ・高等教育支援新制度は、大学と連携して対応（当初見込み77人→150人申請受付） ・新型コロナウイルス感染症対応として、学生納付金（教育充実費6万円相当）の減免独自制度を導入</p> <p>②・学園都市構想の策定に向け、地域や企業との関わりなども含めて構想の骨格案を検討した ・市内5大学等が実施する「まちなかキャンパス」市民向け講座は、コロナ禍の影響もあり前期は中止</p> <p>③・公民館事業への「信州上田学」冠付与19件、神科小学校での出前講座を実施（参加人数140人） ・長野大学の通年講座として、前期「信州上田学A」講座をオンラインで実施 ・事業見直しを余儀なくされ、後期の「上田未来会議」オンライン企画（計12件予定）を検討・準備</p>
重点目標	サントミュージゼを拠点とした文化創造都市実現に向けての「育成・市民協働・鑑賞」事業の推進		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>①サントミュージゼの運営に係る恒常的な検証の実施</p> <p>(1)恒常的な検証組織を立ち上げ（仮称：交流文化芸術センター運営協議会）、事業内容や施設運営について協議し、より市民に身近な事業展開・施設運営を検討する。</p> <p>(2)美術館協議会を開催し、5年間の実績をもとに今後の事業展開を検討する。</p> <p>②文化創造都市と「育成」事業の推進</p> <p>(1)市内全小学校25校、9地域でのワークショップ、コンサートの開催</p> <p>(2)定住自立圏の取り組みとして、坂城町、嬭恋村、長和町、青木村、立科町でコンサートを開催</p> <p>(3)子どもアトリエ事業及びおとなのアトリエ講座等のワークショップ開催</p> <p>③市民と共に歩む施設を目指した「市民協働」事業の推進</p> <p>(1)市民参加型事業の充実（高校生演劇事業、ダンス事業等）</p> <p>(2)市民団体と協働した企画展示会の準備と実施</p> <p>④魅力ある「鑑賞」事業の推進</p> <p>・市民要望を踏まえ、音楽公演・演劇公演等を開催する。</p> <p>⑤広報宣伝活動の推進</p> <p>・前年度に引き続き、県の元気づくり支援金を活用して長野市と共同で広報誌を発行（年2回）するなど、効果的な広報活動を展開する。</p> <p>⑥事業経費の確保</p>	<p>①</p> <p>(1)6月定例会で条例案・予算案を上程し、9月に第1回の協議会を開催する（全5回の予定）</p> <p>(2)諮問：9月、答申：3月</p> <p>②</p> <p>(1)7月から2月にかけて実施</p> <p>(2)4月から12月にかけて実施</p> <p>(3)年度内に50回実施</p> <p>③</p> <p>(1)7月から12月にかけて実施</p> <p>(2)第8回山本鼎版画大賞展の実施</p> <p>④</p> <p>(1)市民要望を参考とした29回の自主事業実施</p> <p>(2)8回の展示会を実施</p> <p>⑤</p> <p>(1)ホームページ、機関誌等により情報提供を行い、よりわかりやすい情報発信に努める。</p> <p>(2)長野市と連携し広報誌を発行する（年2回）</p> <p>⑥</p> <p>(1)国・県等の補助金・助成金の積極的な活用</p> <p>(2)サントミュージゼパートナーズの獲得</p>	<p>①</p> <p>(1)運営協議会を組織し、9月25日に第1回運営協議会を開催</p> <p>(2)第1回美術館協議会を9月25日に開催</p> <p>②</p> <p>(1)～(2)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業は未実施</p> <p>(3)子どもアトリエ事業16回、おとなのアトリエ事業3回実施。WEBコンテンツ制作6本</p> <p>③</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業は未実施</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染拡大防止のため大賞展を延期としたが、今後に向けて実行委員会を開催(1回)</p> <p>④</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リサイタル、ワンコインコンサートの音楽事業2公演（小ホール）のみ実施</p> <p>(2)コレクション展2回、自主企画展1回開催。特別展示中止(3展)</p> <p>⑤</p> <p>(1)サントミュージゼ専用ホームページでコロナ禍の影響による施設利用制限等、施設の利用状況をわかりやすくタイムリーに情報発信するとともに、バックヤードの紹介や臨時休館中の展示会のギャラリートーク等の動画配信4本及びツイッターの活用など積極的な情報発信を実施</p> <p>(2)コロナ禍の影響もあり、未実施</p> <p>⑥</p> <p>(1)国、県、（一財）地域創造等への積極的な補助金助成金等を申請</p> <p>(2)コロナ禍の影響もあり、新たなパートナーズ獲得に向けた勧誘活動は未実施</p>

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	政策企画部
-------	-------

【令和2年度重点目標】

重点目標	文化芸術やスポーツを生かした魅力ある都市づくりの推進		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<p>①東京2020オリ・パラに向けた海外チームのトレーニングキャンプ誘致 ・官民協働のもと、菅平高原における海外チームの事前合宿誘致</p> <p>②ラグビーレガシーの創出 ・自治体連携組織における幹事自治体（全国10自治体）として参画 ・イタリア文化交流の促進</p> <p>③ホストタウン事業による中国との文化的交流の推進 ・中国文化やオリンピック選手等を紹介するイベントの開催</p> <p>④市民や文化団体との連携・協働による文化事業の推進と人材育成の充実 ・文化団体連携事業の開催</p> <p>・小中学校への芸術家派遣事業 ・子ども文化講座、子ども文化祭の開催</p> <p>・NAGANO国際音楽祭補助事業（高齢者施設等への芸術家派遣支援） ・信州上田第九コンサート事業</p>	<p>① ・複数チームの事前合宿内定（年度内）</p> <p>② ・連携組織の事業構築（通年） ・交流イベント開催（室内コンサート、交流フェア）</p> <p>③ ・県連携事業及び市独自イベント開催（下半期）</p> <p>④・上田城跡能（8月） ・うえだ城下町映画祭（11月） ・シリーズ文化講演会（3月） ・芸術家学校派遣事業（5校） ・子ども文化講座（10月） ・子ども文化祭（2月） ・アウトリーチコンサート等開催（8月） ・信州上田第九コンサート開催（12月）</p>	<p>①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東京オリ・パラが延期となったため、中国の女子ラグビー、チェコ共和国のパラサイクル、7人制公式ラグビー審判団員の大会事前キャンプ受入れ中止</p> <p>② ・WEB会議に参加 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イタリアの文化交流部門・コンサート部門ともに中止</p> <p>③ ・新型コロナウイルス感染症対策を行う中で、後期実施に向けた協議を継続</p> <p>④・上田城跡能は、8月29日開催中止 ・うえだ城下町映画祭は11月14日から22日に開催予定 ・シリーズ文化講演会は上田会場のみで3月に開催予定 ・10月に1校、11月に2校実施予定。2校は日程調整中 ・子ども文化講座を10月に計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・子ども文化祭を2月に実施する予定 ・音楽祭は11月に実施予定。アウトリーチについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・第九コンサートは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>
重点目標	選ばれる都市を目指した情報発信とシティプロモーションの戦略的な展開		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
5	<p>①シティプロモーション推進指針に基づく戦略的・総合的な情報発信の推進 ・庁内連携会議の開催による情報共有と事業連携の推進 ・専用webサイト、ラジオ等を活用した情報発信 ・市民リポーター等、市民力を活用したインナープロモーションの推進 ・首都圏のテレビ等を活用した情報発信、東日本連携による情報発信</p> <p>②市民と行政が結ばれる、つながる広報の推進 ・広報うえだの充実 ・上田市メールの充実 ・SNS等の活用した情報発信の促進 ・災害時におけるより有効な情報発信の構築（情報発信体制の見直し、地図情報の掲載、Twitterの活用など）</p> <p>③国勢調査の円滑な実施 ・インターネット回答の利用促進</p> <p>④オープンデータ化への取組 ・新たなオープンデータの追加及び既存のデータ更新</p>	<p>① ・庁内連携会議の開催（3回） ・WEBと連携したラジオ放送の実施（毎週） ・市民リポーターの取材記事配信（週1回程度） ・テレビ放送6回、特別番組制作・放送1回</p> <p>② ・記事内容の充実及び印刷経費の削減 ・メール登録者の増加（23,000件→25,000件）及び8月から多言語機能の追加（言語9か国語） ・災害検証プロジェクトチームにおいて検討し、地図情報の掲載、Twitterの分かりやすい発信などの対応を図る。</p> <p>③ ・インターネットによる回答率 50%</p> <p>④ ・新規に「公共施設一覧」を追加（令和2年度：5分野）</p>	<p>① ・庁内プロジェクトチーム会議を9月末までに1回に開催し、各課の情報共有と連携した取組の検討を実施 ・毎週放送するオリジナルラジオ番組やシティプロモーション用Webサイトを活用して、市の新型コロナウイルス感染症対策や上田の魅力に繋がる情報を発信 ・市民リポーターの取材記事は計2回配信、首都圏向けテレビ番組は計1回放送（いずれも10/1現在）</p> <p>② ・「広報うえだ」特集記事の掲載内容を工夫し、新型コロナウイルス感染症の関連記事をまとめて分かりやすく掲載 ・メール登録者総数 25,568件。8月から日本語の他9か国語で多言語配信開始 登録数 58件。（10/1現在） ・上田市メール配信件数 514件、ツイート件数 976件（4月～9月） ・上田市メール「通行規制情報」は地図情報も入れての配信を管理課が中心となり構築</p> <p>③ ・インターネット回答率 26.1%（10/1現在）</p> <p>④ ・データの追加に向け、担当課との協議を実施</p>

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]